

1. 本授業科目の基本情報

科目名（コード）	地球のアジェンダ I (TDB144)	配当学年	1
講義名（コード）	地球のアジェンダ I (TDB144)	単位数	2
対象学科	グローバルビジネス	時間数	30
対象コース	デジタルビジネス	講義期間	春
専攻		履修区分	選択必修
授業担当者	居山 由彦	授業形態	講義
成績評価教員	居山 由彦	実務者教員	
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

目的（位置づけ）	今後ビジネス界を含む社会全体で取り組むべき最も大きな課題、地球温暖化に関わる社会課題について全体像を理解する。それを解決、もしくは軽減するための知恵とビジネスモデルについて調査、考察、仮説設定を行う。
到達目標	地球のアジェンダに関わる社会課題の認識をふかめるとともに、その軽減につながるアイデアをデジタルの技術を活かして構想する
全体の内容と概要	
授業時間外の学修	
履修上の注意事項	
特記事項	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画

回	日程	講師	授業内容
1	4/21	居山	問題意識 全体観 社会課題の見つけ方
2	4/28	居山	地球環境問題とSustainabilityを意識した 社会課題のビジネス化事例をさがす
3	5/5	授業なし	授業なし
4	5/12	居山	SDGs 歴史的意義と価値観
5	5/19	居山	地球のアジェンダ 1： 地球温暖化 IPCC第6次評価報告書 温暖化のメカニズムと歴史 二酸化炭素 オゾン層 森林破壊 異常気象 永久凍土流出 氷山の溶解 海面上昇
6	5/26	居山	地球のアジェンダ 2： 水をめぐる問題 飲料水の不足 上水・下水 下水管の汚染
7	6/2	居山	地球のアジェンダ 3： ゴミをめぐる問題 廃棄物 リサイクル 食品サイクル
8	6/9	居山	地球のアジェンダ 4： マイクロプラスチックと海 水産資源問題
9	6/16	居山	地球のアジェンダ 5： 食と飢餓と人権をめぐる問題 食糧生産 フードロス 飢餓人口 フェアトレード
10	6/23	ICS-net 小池社長	「日本の食とフードロスの問題を考える」 ・日本の食品業界の課題 ・その社会課題解決に取り組む貴社のビジネスと活動 シェアシマのビ
11	6/30	居山	地球のアジェンダ 6： 少子化・高齢化社会 そして人権をめぐる問題を地球全体の視点で考える どんな社会課題が見えるか？
12	7/7	萩原 貴子氏	地球のアジェンダ 7： ジェンダーをめぐる問題 ジェンダー平等 女性活躍推進 少子化対策
13	7/14	居山	地球のアジェンダ 8： 化石燃料をめぐる問題 クリーンエネルギー 再生エネルギーの世界的普及 EV 原子力
14	7/21	居山	期末レポート作成
15	7/28	居山	まとめとフィードバック

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	
参考文献・資料等	
備考	